（別添２－９）

令和６年９月１日現在

修了評価の方法

評価基準作成者：　伊藤　琢二

評価方法及び合格基準	１　出題範囲 「（２）介護における尊厳の保持・自立支援」から 「（９）こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 ２　出題形式 四肢択一形式とする。 ３　出題数 ５０問 四肢択一形式（配点２点） ４　合否判定基準 【筆記試験】　100 点満点　６０点以上 ５　不合格になったときの取扱い 結果発表後、直ちに２時間の補習のうえ再評価を行う。 再評価に係る合格基準と同等とする。 補習料：１時間あたり 2,000 円　再評価料　1,500 円 再試験は最大２回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には補習範囲に応じて、 次のコースの当該内容の授業を受け、再筆記試験を受ける。 再筆記試験：１回あたり 2,000 円